

4. 予算および主要課題

歳 出

事業名	平成15年度予算(千円)
運営費	19,938
養鱒事業費	59,870
調査指導費	3,953
(森の機能を活かした溪流漁場の利用と改善のための技術開発試験費)	
(マス類遺伝子資源の保全及び利用に関する研究費)	
(地域環境保全型養殖技術の開発研究費)	
職員費	41,472
計	125,233

歳 入

事業名	平成15年度予算(円)	平成15年度決算(円)
使用量及び手数料	15,485,000	15,565,080
財産収入	42,255,000	43,459,246
雑入		8
計	57,740,000	59,024,334

平成15年度主要事業一覧表

事業名	事業概要
森の機能を活かした溪流漁場の利用と改善のための技術開発試験	河川の特性と遊漁者のニーズに応じた遊魚振興による中山間地域の活性化を図る。 1. 河川漁場へのアマゴ大型種苗の秋放流試験 2. 渓流域のマス類産卵繁殖場探索
マス類遺伝子資源の保全及び利用に関する研究	遺伝的多様性の保全に対する社会的関心が高まり、放流事業にも多様性への配慮が求められている。また養殖業ではマス類の持つ優良遺伝子の利用を目指した育種研究の進展が望まれている。 1. 遺伝的多様性保全技術の開発 2. 養殖魚のバイオテク応用集団育種システムの開発
地域環境保全型養殖技術の開発	養殖業における省水量、省エネと環境負荷の低減化を図り、ゼロエミッション型生産の確立を目指す。 1. 種苗生産技術の改良(ビワマス) 2. 種苗生産における環境負荷軽減技術の開発(ミズカビ防止)
研修事業	環境立地条件と「さかな学習館」を利用し、青少年や一般社会人を対象とした研修を通じて知識の向上を図るとともに理科教育や社会教育の場を提供する。
養鱒事業	ニジマス等の種卵・種苗等の生産供給事業を委託し、内水面の円滑な推進を図る。 供給目標：種卵3,500千粒 種苗1,400千尾 成魚17,200Kg
養鱒場一般観覧業務(運営費)	入場料徴収・清掃業務の委託等により、円滑な一般観覧、施設維持管理を図る。